



人形を用い、胎児の大きさや重さを実感する生徒たち。
写真右端は講師の矢部浄さん

中学生が命について学ぶ

日本助産師会北海道支部の矢部^{きよみ}浄助産師や町内の妊婦の方などを講師に家庭科兼子育て講座が10月31日と11月12日に追分中学校で開催されました。対象は同校の3年生37名。学校教育と社会教育が融合を図る学社融合事業として行われたもので、受精や命の誕生などのビデオを上映後、矢部先生がさまざまな経験を交えた講義を行い、胎児人形を用い出産や子育てについて説明しました。生徒たちは生命誕生の神秘性などを学んだことにより、人間の命の大切さについて改めて気づくことができました。



安全防具を着けて激しい攻防戦

第5回全北海道防具空手選手権大会が11月11日に早来研修センターで開催され、町内の空手少年団に所属している選手(23人)も出場しました。安全防具を着けて対戦するため、攻撃されてもダメージが少なく果敢^{かかん}に戦うことができます。試合はポイント制で行なわれ、お互いに相手のすきを見つけて激しい攻防が随所に見られました。場内は保護者や仲間の声援が送られる中、緊迫感に満ちた雰囲気でした。

安平町の選手は、自由形の部門で北方千尋さん(小学高学年の部)、宮本悠揮君(中学生の部)、阿部幸恵さん(高校生女子の部)がそれぞれ優勝しました。



和やかな中での研修会

安平町老人クラブ連合会主催による平成19年度の研修会が、11月6日に8団体約240名が参加し、早来町民センターで開催されました。

長年、老人クラブの会長又は副会長の要職に就き功績のあった3名と、特に会の運営に功績があった1名の方を表彰。講座では、北海道消費者協会非常勤講師の中井悦子さんが「悪徳商法から身を守る」というテーマで被害事例や対処方法の話をしました。午後からは、各クラブの方がカラオケや舞踊などを披露し、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

困ったときは相談してください

11月15日に追分小学校で人権教室が行われました。

この事業は、人権思想の普及といじめや差別など人権侵害の撲滅を目指して、町内の人権擁護委員と法務局の職員が小学5年生を対象に実施したものです。

ビデオを上映後、児童たちは意見や感想を出しあい、最後に、人権擁護委員の實吉^{さねよし}智子さんが「悩みがあったら心の中に貯め込まず、まず相談しましょう」と子どもたちに呼びかけていました。



講師の實吉人権擁護委員(写真右端)